

令和4年度 社会福祉法人白鳩会事業報告

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に気を付けながらの法人・施設運営も3年が過ぎ園児・保護者、職員も様々な制限がかかる中での毎日に疲弊していますが、ようやく令和5年3月からマスクの着用は任意となり、5月からは感染症の分類が2類から5類（インフルエンザと同等）扱いと打ち出されたことでようやくマスクの下の笑顔を見ることが出来る毎日が戻ることに期待できるようになりました。一方で、全国各地で続々と明るみに出た園児に対する虐待行為いわゆる「不適切保育」が連日報道を賑わしましたことにより、全国の施設を対象に過去まで遡り不適切な保育が行われていないかの総点検が実施されました。当然、当法人が運営する施設においてはそのような実態は確認されませんでした。これから先、そのようなことが絶対に行われないう、法人本部より各施設の園長に指示をしたところ

です。
施設管理としては、コロナ禍の影響で、各施設の園長が集まり施設運営の方向性を対面形式で確認し合える場も殆どなく、オンラインでの会議や毎月の報告書での確認事項となりました。
しかしながら、今後は可能な限り対面形式での会議を進めていきたいと考えています。

大阪府守口市で運営するゆずり葉こども園の老朽改築工事について令和4年に業者選定の入札を行い、令和5年1月に着工しました。地域や地中等の周辺調査の後、3月から本格的に工事が進んでいます。順調に進めば令和6年3月頃の竣工を目指します。

コロナの影響や企業における育児休業も進んだこともあり、東京や大阪も含めて全国的に0歳児の入園申込み数が減少している傾向でした。（反面、1歳児と2歳児で入園できない家庭がこれまで以上に増加しました）当法人が運営する施設においてはほぼ、定数通り利用申し込みがありますが、今後もこの傾向は続き、合わせて出生数の減少に歯止めが掛からないため、今後厳しい施設運営を迫られますが、安定的運営ができている今のうちに保育内容の充実による安定運営の維持や地域の実情に応じた対策を検討していきたいと思えます。

人材確保の問題については一向に好転せず、各種の求人媒体の活用や就職フェアへの出展をしましたが、思うような効果を得ることはできず、令和5年度以降は現状から縮小や予算の掛け方について検討を進めていくこととしました。

【理事会・評議員会の開催について】

- ・ 予算、決算や理事会の議決を必要とする重要案件については、コロナの影響も考慮して書面による議決やオンライン会議システムを併用したハイブリッド形式にて開催しました。

【各施設園長会議の開催について】

- ・ 各施設の経営状況の報告や法人本部から各施設に対する指示についてオンライン会議システムを使用して都度開催しました。